

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 鈴木 文三郎  
幹事 豊田 貴久  
会報委員長 磯部 一智

2018 ~ 2019年度 国際ロータリー バリー・ラシン 会長テーマ

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3047回例会プログラム

[当年度=32回目; 当月=3週目]

2019年(平成31年) 4月15日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………それこそロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 新入会員挨拶……………磯村<sup>いそむら</sup> 徹<sup>いとお</sup> 会員  
黒田<sup>くろだ</sup> 栄一<sup>えいいち</sup> 会員  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(4/22) ……  
クラブフォーラム(雑誌委員会)  
卓話「My Rotary と  
刈谷 RC フェイスブックについて」  
講師 クラブ雑誌委員長 加藤 正則 会員  
※第3四半期皆出席の発表(出席委員会)  
(4/29) ……休会(法定休日)

- 13:00 14. 本日のプログラム  
新入会員アワー  
新村 淳彦 会員  
山本 直 会員

15. 謝辞  
16. 点鐘……………〈会長〉  
17. 閉会宣言

- 13:30 18. 散会

## 出席

会員総数 97名 出席免除 24名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 90名  
欠席 9名 出席率 90.00%  
前々回(3/25)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 碧南ロータリークラブより、創立50周年記念式典出席のお礼状が届きました。

## 幹事報告

- 1) 磯村会員と黒田会員が入会されましたので、現在の会員数は97名となります。磯村会員はフェロシップ委員会、黒田会員は会場委員会の配属となります。

## 副幹事報告

- 1) 昨日4月14日(日)2019-2020年度地区研修・協議会が開催されました。次年度役員・委員長ならびに出向者の皆様、ご出席ありがとうございました。



- 2) 来週4月22日(月)18時より名鉄グランドホテルにて、2019-2020年度理事、役員顔合わせ会を開催させていただきます。ご関係の方はよろしくお祈りいたします。

## 会長あいさつ



鈴木文三郎

バンコクスワナブーム RC との交流が始まった経緯のお話をします。

2014～15年度、私が国際奉仕委員長の際に、地区財団セミナーを受けて、グローバル補助金事業をやってみたくて思いました。当時クラブ

奉仕委員長だった、吉原孝彦会員に相談したところ、「瀬戸 RC がスポンサーでグローバル補助金奨学生としてタイに留学している加藤美生さんという素晴らしい人がいるよ。」という情報をもらいました。

メールでやり取りして、こちらの意向を伝えると、タイで美生さんのカウンセラーを務めるバンコクスワナブーム RC の Yod さんを紹介していただけることになりました。

たまたまバンコクで、グループ会社の工場の竣工式があったので、その折に滞在先のホテルのロビーで加藤美生さんと Yod Watana さんにお会いし面談しました。Yod さんはすぐにこちらの意向を理解してくれ、食事に行こうということになり、「パタラ」というお洒落なタイ料理のお店に連れて行ってくれました。そこには、スワナブーム RC のメンバーや、地区のバスターガバナーまで揃って歓迎を受けました。

帰国後、メールでのやり取りで話はトントン拍子に進み、グローバル補助金事業「子宮頸がん予防キャンペーン～地域への贈り物～」を刈谷 RC とバンコクスワナブーム RC で申請することになりました。

ロータリー財団から補助金の認可が下りたのは、2015～16年度に入った7月23日でした。国際奉仕委員長は神野公秀委員長に、私はクラブ奉仕委員長になっていました。同年の11月17日から21日までの予定で、加藤真二会長以下6名でバンコクを訪問し、事業の実施現場に立ち会ってきました。

翌2016～17年度の11月には、スワナブーム RC から8名が来日され、2760地区の地区大会や刈谷 RC の例会にも参加され友好を深めました。加藤哲也会長や下谷敏朗国際奉仕委員長にはお世話になりました。

そして今年度、11月に刈谷 RC 創立65周年記念事業としてタイを訪れた際にも、空港での出迎え、記念式典への参加と協賛、食事会と交流を深めました。

さらに、今年の2月に国際奉仕事業のアジア子ども絵画展のオープニングセレモニーにバンコクへ行った際にも、交流を深め、その場で、Yod さんからスワナブーム RC メンバーがまた日本を訪れたいとの申し出もありました。

次年度以降に、友好クラブ締結の話もできるかと思いますので、次年度以降の会長・幹事さん、宜しく願いいたします。

## 新入会員アワー

新村 淳彦 会員



昨年10月に伝統と格式ある刈谷ロータリークラブに入会させていただきましたデンソーの新村です。

今回は自己紹介の機会をいただき、誠にありがとうございます。

私は1957年愛知県半田市に生まれ、現在、61才です。半田高校・名古屋大学を卒業し、会社もデンソーのため、入社後10年間を含め、半田以外に住んだことはありませんでした。

家族は長女／長男は結婚・独立し、現在は妻、介護が必要な高齢の父・母と半田に住んでいます。

私の人生には、小学3年生で入隊したスカウト活動が大きな影響を与えました。カブ／ボーイ／シニア／ローバスカウト、リーダー、団委員と活動し、奉仕の精神／愛国心に加え、様々な世代／経歴／考えの方々と交流より規律／協調性／チームワーク／リーダーシップの大切さを学びました。妻ともスカウト活動を通じて知り合いました。

デンソーでは人事部配属になりましたが、海外希望が強く、社内海外研修制度に応募し、1年間イリノイ大学で勉強しました。その後、1989年から6年間、テネシー工場の立上げ／稼働に携わり、デンソー流／米国流融合した人事制度の制定、海外経験のない400名強の現場系駐在員／家族・出張者の生活定着支援には苦労しました。方言の強いローカル社員・地域の人々との会話も大変でした。子供達もこの経験により、現在は長女はアメリカ人と結婚し同時通訳を、長男も駐在員として米国勤務をしています。

2008年、テネシー社長として再赴任しましたが、当時、デンソーはテネシー州東部では最大の企業となっていたため、地域との関係には特に留意し、州／市の議員・政府／商工会議所幹部を自宅に招待し、交流を深めました。

再赴任1年後、前任者が病気のため、急遽、北米事業全体を統括する上級副社長としてデトロイトに異動しました。運悪く、社長も病気療養となり、社長代行として、リーマンショック・東日本大震災等の対策では大変苦労しました。

刈谷ロータリークラブも監査役としての視野を広げるには非常に良い機会と考えます。今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## 新入会員アワー

### 山本 直 会員



伝統と格式のある刈谷ロータリークラブでお話をさせて頂く機会を得ましたこと、光栄に存じます。

荒川車体に入社後10年目から海外事業に従事してきました。

最後の赴任地である上海では「豊田紡織廠」を管轄していました。

現在記念館として保存しているこの建物は、トヨタグループ発展の歴史上、重要な役割を果たしました。また佐吉翁の創業の精神に触れられる場所でもあります。

1918年に豊田紡織を創立した同じ年に佐吉翁は上海を訪問しています、そして1921年に豊田紡織廠を設立しています。この頃の中国は、第一次世界大戦後の混乱期にあり、佐吉翁は民間人による日中親善・友好の必要性を感じられていました。周囲の人は政情不安定な中国進出を反対されましたが、それを押し切って、片腕となる西川秋次氏を伴い、中国に永住する覚悟で上海に渡られました。この時に有名な言葉「障子を開けてみよ、外は広いぞ」が生まれています。個人事業からスタートした豊田紡織廠は敷地面積6万6千m<sup>2</sup>、建屋面積3万3千m<sup>2</sup>。従業員4,500人を雇用する大会社となりました。佐吉翁は7年近く上海にお住みになり、当時のご自宅は政府の要人も訪れる民間外交の場であったようです。

2011年に豊田紡織廠で90周年記念指揮を開催しました。そこに当時豊田紡織廠で働いていた女性が出席され「一朝豊田・終身豊田・世代豊田」、誰もが会社に入りたかった。豊田に入れば自分のもとより、子・孫の代まで安心できる会社とのご発言をされました。正に佐吉翁の創業の精神が成就されていた事を感じます。

現在豊田紡織廠は現存していた事務棟・食堂等を改修し「記念館」としてトヨタグループ17社で管理しています。G型織機や豊田式木製人力織機の展示実演、当時の貴重な写真の展示、復元された佐吉翁の社長室などをご覧いただけます。トヨタ紡織の総務部に保存会の事務局がありますので、興味のある方はお声がけください。



氏名 黒田 栄一  
生年月日 昭和36年11月17日  
推薦者 杉浦 芳一 会員  
職業分類 鋼熱処理  
事業所名 栄熱処理工業株式会社  
役職名 代表取締役社長  
所属委員会 会場委員会



## 新入会員紹介

氏名 磯村 巖  
生年月日 昭和52年6月2日  
推薦者 加藤 英二 会員  
職業分類 空調設備工事業  
事業所名 豊安工業株式会社  
役職名 代表取締役社長  
所属委員会 フェロウシップ委員会